

平成29年度 学校評価実施報告書

学校番号 94

学校名 千葉県立松尾高等学校

課程名 全日制の課程

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果をふまえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>① 学校ホームページについては、行事や部活動の大会等における生徒の活躍を中心に、SGHの取組と校長通信「きちかう」の2つのブログで、毎日のように更新し、発信した。また、携帯メールを使用して、文化祭や体育祭、PTA総会や各学年進路保護者会などの学校行事とともに、修学旅行や海外フィールドワーク中の状況をリアルタイムで保護者に情報提供した。保護者による学校評価アンケートでは「松尾高校の教育方針を、理解している」が79.4%で、大きく向上した前年度とほぼ同様の数値を示しており、概ね目標を達成することができた。</p> <p>② 保護者による学校評価アンケートでは「松尾高校に入学させてよかった」が84.1%で、前年度とほぼ同じ数値であるが、生徒では72.6%で3.3%減少しており、原因を分析し対応を行いたい。</p> <p>③ 国内大学との連携は11回、海外大学・高校との連携は3回、地元自治体との連携は大きな事業だけで6回、企業は地域フィールドワークの37社をはじめ、新規の連携事業もパラマウントベッドや亀田総合病院など数多く実施した。海外機関等の連携もJICAやタイに支社を持つ日本企業とも連携が行えた。保護者による学校評価アンケートでは「松尾高校のSGHの取組は、有意義で、充実している」が65.7%で、前年度に比べ4.8%増加した。</p>	<p>① 学校ホームページについては、更新回数は大きく増加した。さらに、有効な内容の発信に努め、保護者や地域、中学生の理解を深めたい。携帯メールについては、各学年での発信を促進することにより、保護者の理解がさらに深まるように努めたい。</p> <p>② 今後も一層満足度が向上するよう、各取組、学校行事、授業の質を向上させていく。また、SNS等のトラブルや、いじめや暴力等がない学校づくりにも今まで以上に力を入れたい。</p> <p>③ SGH事業内容の精選を図り、多くの生徒にとって有効なものとしたい。地元自治体及び企業との連携をさらに深め、学校全体の教育力の向上に努めたい。</p>
学習指導	<p>① 生徒による学校評価アンケートでは「授業難易度が適切である」が83%で、前年度の「授業内容はよく理解できる」に比べ14.2%増加した。</p> <p>② 授業公開を4回、校内研修を6回実施。その他、国語で文科省の研究事業協力校となり2回の公開授業、また、英語拠点校として近隣小中学校にも声を掛け、英語の公開授業と研究協議を実施。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>③ 今年度から数学で基礎学力定着のための小テストを月1回実施した。英語、国語とともに、概ね目標を達成することができた。</p> <p>④ ルーブリックによる評価はこれからだが、各種模擬試験による学力の伸長や、GPS-Academicを受検させ、批判的思考・協働的思考・創造的思考について評価した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p>	<p>① 生徒の学力差を意識した場面を各授業中に作っていきたい。学年が上がるごとに授業の難易度が上がるため、理解度を上げるための工夫を行っていききたい。</p> <p>② 次年度も多く視察等を受け入れ、公開授業等を実施し、授業改善に努めたい。さらにSGHで本校が取り組んでいる先進的な課題研究や英語教育の取組の深化、普及に努めたい。</p> <p>③ 今年度の成果を踏まえ、生徒一人一人の習熟度に合わせた学び直しのカリキュラム開発に、今後も取り組んでいく。</p> <p>④ ルーブリック評価に加え、ポートフォリオによる努力の積み重ねを評価できる仕組みづくりに取り組むたい。</p>

生徒指導	<p>① 月1回服装指導を、学期に4回ずつ登校指導と校外指導を実施した。また、保護者による学校評価アンケートでは「服装・頭髪についての指導が適切に行われている」が88.3%で、前年度に比べ0.1%増加した。また、生徒の92.2%が適切であると評価した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>② 面接週間を2回実施し生徒個々の把握に努めた。また、個別事案や生徒指導の基礎的な対応について、スクールカウンセラー及び教頭が職員研修を行った。低学年を中心に、個別対応の必要な生徒が多くなり、専門機関と連携した体制を整える必要があると感じた。</p> <p>③ 各学年が合計3回地域清掃活動を実施し、概ね目標を達成することができた。</p>	<p>① 生徒及び保護者の理解を得ながら、適切に服装指導、登校指導、校外指導を実施する。</p> <p>② 引き続き養護教諭とスクールカウンセラーを中心とした教育相談体制を整え、外部機関と連携し、教育相談の充実に取り組む。</p> <p>③ 地域の清掃活動やボランティア活動に取り組み、生徒の道徳的意欲や実践力を高めていく。</p>
キャリア教育	<p>① 1年生は総合的な学習の時間を2単位に増やした。そして、総合的な学習の時間を使い1年生29回、2年生20回、3年生18回キャリア教育を実施した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>② 夏季休業中に、SGHの取組とリンクさせ1年生全員161名が地域フィールドワークを行った。また、2・3年生は66名がインターシップに参加した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>③ 外部講師を招聘して実施した進路説明会を1年生は9回、2年生は7回、3年生は7回実施した。また、生徒による学校評価アンケートでは「進路について熱心に指導してくれる」が84.9%で、前年度に比べ1.8%増加。保護者は「適切な進路指導が行われている」が74.4%で、1.9%増加した。したがって、概ね目標を達成することができた。</p>	<p>① 総合的な学習の時間を活用し、一層充実したキャリア教育に取り組んでいく。新1年生は、総合的な学習の時間が1単位となるため、内容を精選して充実に努める。</p> <p>② より多くの生徒がインターシップに参加するとともに、SGHの課題研究の取組を充実させ、生徒の資質や能力の向上を図る。</p> <p>③ SGHの取組と協働し、一層充実したキャリア教育に取り組む。</p>
特色教育あ育る活動	<p>① 文部科学省の中間評価は、満足のいくものとはならなかったが、年度途中においても、事業の見直しを行い、改善に努めた。また、有効な新規事業も実施することができ、多くの報道機関に取り上げていただいた。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>② 福祉コース選択者は2年生が8名、3年生が12名である。3年生全員が介護職員初任者研修を修了することができた。したがって、概ね目標を達成することができた。</p> <p>③ 部活動加入率は94.0%で、前年度と同じ数値である。生徒による学校評価アンケートでは、部活動に対する満足度が77.7%で、前年度に比べ6.6%増加した。保護者の72.6%が充実していると回答し、2.1%減少となっているが、概ね目標を達成することができた。</p>	<p>① 文部科学省の中間評価は、満足のいくものではなかったが、指摘された「普及」と「継承」を意識した事業展開に努め、改善を図っていきたい。</p> <p>② SGHの取組と福祉コースの取組が協働して、一層充実したものになるように計画的に取り組んでいく。</p> <p>③ SGHの取組を行う部活動を立ち上げて職員の服務の問題を解消するなど、SGHの取組を一層充実させる。</p>

学校評価の公表について (手段・時期・内容等)	学校だより（3月号）で保護者宛てに公表するとともに、2月中にホームページ上にアップする。なお、アンケート結果に加え、学校関係者評価の結果及び学校評価のまとめについても公表する。
----------------------------	--

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に向けた改善策)
学校経営	<p>① 松尾高校は良い取組を行っている。昨年度も申し上げたが、外への発信をもっと行うべきだと感じる。</p> <p>② 地域フィールドワーク、出前講座、英語合宿、山武未来塾など、今後も松尾高校を支援していきたい。</p>	<p>① S G Hの取組をホームページで発信するとともに、新聞等に取り上げられるように積極的に広報活動を行う。また、小中学校へ生徒を派遣し交流活動を行ったり、職員の出張授業を行い成果の普及に努める。</p> <p>② S G Hの取組を進めるため、大学や山武市との連携を一層充実させていく。また、既存の行事を精選し、充実した取組となるように努める。</p>
学習指導	<p>① 松尾公民館のスタディカフェの利用率が芳しくない。どのような工夫が必要なのか教えていただきたい。</p> <p>② 下校の際、バス停のベンチで勉強をしている生徒も見かける。</p> <p>③ 授業を拝見したが、グループ討議を行うなど、自分が勤務していた会社でも同様のことが行われていたことを思い出した。とても良いことなので継続してほしい。</p> <p>④ 松尾高校の生徒だが、落ち着いたという印象を持っていたが、授業を拝見して改めてそう感じた。</p>	<p>① 山武市と連携し、松尾公民館の利用についてアンケート調査を行うなど、利用の促進に努める。</p> <p>② 生徒の自主性が育つよう、あらゆる活動を通してより一層努めていく。</p> <p>③④ 公開授業等を多く取り入れ、本校が取り組んでいる課題研究や学び直し、英語教育などをさらに充実させ、それぞれの授業力を向上させるとともに、県内の教育力向上にも寄与していく。</p>
生徒指導	<p>① 「松尾高校に入学してよかった」の数値が下がっていることが気になる。「セクハラ相談窓口の先生や教育相談先生を知っている」を問うのではなく、きちんといじめなどの相談に対応できているかを問うべきではないのか。「入学してよかった」と思えるような相談体制を見直してもらいたい。</p> <p>② 最近の若者は、メンタルに問題があるものが多いと感じる。強い精神力を持った生徒を育ててもらいたい。</p> <p>③ 生徒が年々よくなっている。女子も雰囲気がよくおしとやかな印象だ。男子は元気があり挨拶をよくしてくれる。</p> <p>④ 生徒は、しっかりと話をできる。うちの店に、吹奏楽部の生徒が、広告の依頼やポスター掲示の依頼に来るが、きちんとしていて敬語が使えている。協力したくなる。</p>	<p>①② 養護教諭とスクールカウンセラーを中心とした教育相談体制を整え、特に、いじめの早期発見、早期対応に努める。必要に応じ、外部機関とも連携し、教育相談のさらなる充実に取り組む。</p> <p>③④ 地域の期待に応えるため、来年度も地域の方々への挨拶の励行や清掃活動、ボランティア活動に取り組み、生徒の道徳的意欲や実践力を高めていく。</p>
キャリア教育	<p>① 松尾高校の卒業生が今年度2人市職員として採用されている。よく頑張っている。</p> <p>② 山武市職員に次年度に向けて1名採用した。今年度は倍率が高く難関だったが、よく頑張ったのではないかな。</p>	<p>①② 引き続き生徒一人一人に寄り添ってきめ細かく進路指導を行い、キャリア教育の充実に取り組んでいく。</p>

<p>特色ある教育活動</p>	<p>① 「地域への提言」や SGH 発表大会では、生徒が成長していることがよくわかった。松尾高校に関わって1年半になるが、生徒の顔つきが明らかに変わってきている。</p> <p>② SGH は松尾高校志望のきっかけになっている。指定が終わった後でも生徒が伸びる仕組み作りが必要だ。</p>	<p>①② SGH の取組をさらに充実させ、生徒の課題解決能力、チャレンジ精神、コミュニケーション能力、異文化理解力等を伸ばしていく。また、効果的な実践例等の普及に努めるとともに、指定終了後の事業の継承に努める</p>
-----------------	---	---